

# 地域再生計画 事後評価シート

## 「飯田市上村緑の回廊」計画

平成23年11月

## 地域再生計画 事後評価シート

都道府県名	長野県	市町村名	飯田市	地域再生計画名称	「飯田市上村緑の回廊」計画
交付期間	平成17年度～平成21年度	事後評価実施時期	平成23年度		

目標の達成状況	指標名		設定時	目標値	実績値	評価
	①	国道152号線から「しらびそ高原」までの所要時間	60分	50分	50分	○
	②	「しらびそ高原」から「日本のチロル下栗の里」までの所要時間	50分	40分	38分	○
	③	「日本のチロル下栗の里」から国道152号線までの所要時間	30分	25分	25分	○
	④	国道152号線から南アルプス登山口までの所要時間	70分	60分	60分	○

支援措置を活用する事業	項目		整備量	事業費	内、交付金	実施状況
	市道（県代行）	計画	0.21km	410,800千円	205,400千円	
実施		0.21km	410,800千円	205,400千円		
市道	計画	4.8km	264,000千円	132,000千円	改良2路線	
	実施	4.8km	264,000千円	132,000千円		
林道	計画	1.63km	162,000千円	81,000千円	改良2路線	
	実施	1.62km	155,520千円	77,760千円		

その他の事業	計画内容	実施状況
	林道御池山線沿線に日本初の隕石クレーターの文化的遺産としての保存活用が可能となる。	御池山隕石クレーターを文化的遺産として保存活用するための基礎調査を実施した。H22以降、クレーターの広報活動を展開（ガイドブックの作成、美術博物館ドームシアターでの映像発信）。H23/6～8月にかけて御池山隕石クレーター特別展を飯田市美術博物館において開催。今後は遠山地区での企画展やクレーター周辺への解説パネルの設置などを計画していく。
「日本のチロル」「日本の原風景を今に残す里」と呼ばれている「下栗の里」には、地元住民との交流を深く結びつけるため、畑付のクライガルデンを5棟整備し、地元住民が講師となり農業体験が行われている。 またソフト事業として、「はんば亭」の広場を主会場に、観光シーズンにはコンサート、「ふれあい祭り」などの各種催しが行われており、交流が着実に実を結びつつあり、今後の発展も大いに期待できる。	クライガルデンは予約で一杯の状態であり、下栗の里における農業体験は根強い人気がある。また、下栗の里はその景観を柱に観光資源としての価値に磨きをかけ、「ふれあい祭り」などの催しへの参加者も増えてきている。二度イモを使った焼酎や、下栗そばなども地元を代表する特産品として今後発展する可能性がある。	

総評及び今後の方向性	<p>本地域再生計画に基づき事業を実施した。計画に位置づけられている林道および市道を、地区内を巡回する「緑の回廊」として一体的に整備することで、国土保全や景観のみならず、地域の自然や伝統芸能を観光資源として活かすための基盤整備を図った。これにより地域内の観光拠点までの所要時間が短縮され、当初の目標を概ね達成することができた。</p> <p>本事業の次期計画として「ゆとりある自然と共生する暮らし」計画が進行しており、引き続き林道及び市道の整備を一体的に進めることで、安全な通行の確保や、林業振興、観光振興に資していくこととする。</p>
------------	---

(添付資料)

### 道整備交付金による目標説明図（飯田市上村地区）

